



eurofins



防爆構造電気機械器具型式検定合格証

発行者： ユーロフィンズ・イーアンドイー・シーエムエル・リミテッド ユニット1、ニューポートビジネスパーク、ニューポートロード、エレスミアポート CH65 4LZ 英国	
申請者	Keit ltd Unit 4 Zephyr Building, Harwell Campus, Oxfordshire OX11 0RL
製造者	Keit ltd Unit 4 Zephyr Building, Harwell Campus, Oxfordshire OX11 0RL
品名	FTIR スペクトロメータ
型式の名称	IRmadillo 詳細は別紙1のとおり
防爆構造の種類	耐圧防爆構造
対象ガス又は蒸気の 発火度及び爆発等級	IIB+H ₂ , T4, Ga/Gb
製品上の Ex マーキング	Ex db IIB+H ₂ T4 Ga/Gb
定 格	別紙1のとおり
使用条件	別紙2のとおり
型式検定合格番号	CML 21JPN1201X
有効期間	2021年04月12日 から 2024年04月11日まで



機械等検定規則による型式検定に合格したことを証明する

2021年04月12日

型式検定実施者：ユーロフィンズ・イーアンドイー・シーエムエル・リミテッド主任検定員

**別紙 1 定格および型式**ASM0627-08 - E - A - x - x - xx $T_{amb} = -15^{\circ}\text{C} \sim +40^{\circ}\text{C}$, $T_{ANALYTE} = -15^{\circ}\text{C} \sim +80^{\circ}\text{C}$

ASM0627-08 - E - C - x - x - xx、下表参照：

周囲温度および分析対象物温度			
コネクタ オプション M =	= 25	= D	= K
M	$T_{amb} = -15^{\circ}\text{C} \sim +49.5^{\circ}\text{C}$ $T_{ANALYTE} = -15^{\circ}\text{C} \sim +80^{\circ}\text{C}$	$T_{amb} = -20^{\circ}\text{C} \sim +49.5^{\circ}\text{C}$ $T_{ANALYTE} = -20^{\circ}\text{C} \sim +80^{\circ}\text{C}$	$T_{amb} = -15^{\circ}\text{C} \sim +49.5^{\circ}\text{C}$ $T_{ANALYTE} = -15^{\circ}\text{C} \sim +220^{\circ}\text{C}$
H または T	$T_{amb} = -15^{\circ}\text{C} \sim +54.5^{\circ}\text{C}$ $T_{ANALYTE} = -15^{\circ}\text{C} \sim +80^{\circ}\text{C}$	$T_{amb} = -20^{\circ}\text{C} \text{ to } \sim +54.5^{\circ}\text{C}$ $T_{ANALYTE} = -20^{\circ}\text{C} \sim +80^{\circ}\text{C}$	$T_{amb} = -15^{\circ}\text{C} \sim +54.5^{\circ}\text{C}$ $T_{ANALYTE} = -15^{\circ}\text{C} \sim +220^{\circ}\text{C}$
G	$T_{amb} = -15^{\circ}\text{C} \sim +60.9^{\circ}\text{C}$ $T_{ANALYTE} = -15^{\circ}\text{C} \sim +80^{\circ}\text{C}$	$T_{amb} = -20^{\circ}\text{C} \sim +60.9^{\circ}\text{C}$ $T_{ANALYTE} = -20^{\circ}\text{C} \sim +80^{\circ}\text{C}$	$T_{amb} = -15^{\circ}\text{C} \sim +60.9^{\circ}\text{C}$ $T_{ANALYTE} = -15^{\circ}\text{C} \sim +220^{\circ}\text{C}$
分析対象物圧力			
最小	1 bara/0 barg	1 bara/0 barg	0.3 bara
最大	20 barg	20 barg	42.37 bara

別紙 2 使用条件

1. 検査対象媒体は、粉じん粒子が排除された場所にあること。
2. DIP プローブは、衝撃から保護するように取り付けること。
3. DIP プローブオプション「K」を取り付けた機器の場合、プローブ先端の温度変化率を毎分 50°C 以下に制限すること。
4. プロセス分析対象物、コーンガラスおよびシール用 O リングの材料間の化学的適合性を確実にするのは、製造者、据付者および最終使用者の責任である。
5. 型式ごとに適用される使用条件

オプション	適用される使用条件
M	いずれかのコネクタを取り外すより前に、機器の電源を遮断すること。
H	コネクタを取り外したら、直ちにコネクタに保護キャップを取り付けること。 有線データ通信（オプション U）も選択している場合、データコネクタを取り外す前に必ず機器の電源を遮断すること。
T	（追加条件なし）
G	当該機器を固定する場合は、グラウンドと共に必ず編組ケーブルを使用すること。ケーブルは、引っ張りや捻じれを防ぐように効果的に固定すること。